

英語

英語

数学

日本史

世界史

地理

論文テスト

I (i) (1) 1 (2) 4 (3) 3 (4) 2
(ii) (5) 2 (6) 2 (7) 1 (8) 1 (9) 2 (10) 3II (i) (11) 1 (12) 2 (13) 4
(ii) (14) 3 (15) 3 (16) 3 (17) 2 (18) 1 (19) 4 (20) 1III (i) (21) 4 (22) 4 (23) 2
(ii) (24) 3 (25) 1 (26) 4 (27) 1 (28) 2 (29) 4 (30) 2 (31) 2

IV (32) 4 (33) 4 (34) 4 (35) 1 (36) 1 (37) 2 (38) 3

V (39) 2 (40) 1 (41) 4 (42) 2 (43) 1 (44) 2 (45) 3 (46) 3
(47) 1 (48) 3VI (a) reference (b) request (c) survival (d) disposal
(e) explosionVII (a) brings (b) grown (c) regarded (d) identify (e) limited
(f) handed

I

■ 解答時間の目安 20分

■ イントロダクション.....
 文章は頻出のトピックで読みやすい。空所補充問題はかなり難しい問題が入っているが、内容一致問題は解きやすいものが多いのでここで確実に正解したい。

解答の根拠になる箇所が同一箇所になる問題が多いため、先に設問を読んで頭に入れておくと素早く複数の問題に解答できる。

■ 設問解説.....

(i) 空欄補充

(1) 正解 1 burst of 難

1 burst of 「～の突発」

2 destruction of 「～の破壊」

3 drop in 「～の下降」

4 myth of 「～という根拠のない俗説」

空所の後ろにはso we should welcome it (= AI)「私たちは喜んで受け入れるべきだ」とあるので、新たな革命が導いてくれるのはプラスのことであるとわかる。よって【(1)】growthの部分は**プラスの意味にならなければならない**。ゆえに1を入れて「急成長」とすれば文意に合う。他の選択肢はどれもマイナスの意味なので不適切。burst of growthを知っている受験生は少なく難問。

(2) 正解 4 turning out やや難

1 giving up 「やめる」 2 holding back 「隠す」

3 looking on 「見る」 4 turning out 「作る」

空所を含むbutの前後を見ると、前には「主に利

益に興味があった」とあり、後ろは「従業員が買えない車を【(2)】することは意味がない」という文脈になっている。第3段落第1文にensured that the workers who produced the goods could also buy them「製品を製造する労働者が確実にその製品を買えるようになった」とあるので、空所にはこのproduceの言い換えになる4のturning outが入る。難しい熟語だがoutの「外に出る」イメージから意味を推測したい。

(3) 正解 3 unheard of 難

- 1 a tradition 「伝統」
- 2 quite common 「とても一般的な」
- 3 unheard of 「前代未聞の」
- 4 without profit 「利益を顧みない」

空所の前にwhich was considered very high and wasとある。このwhichが指すのは「労働者に1日に支払う5ドルという金額」である。よって空所に3を入れれば、「20世紀初頭では非常に高いとみなされ、前代未聞だった」となり文意に合う。1や2では逆の意味になってしまう。

(4) 正解 2 the few and not the many 標準

- 1 the development of AI 「AIの発達」
- 2 the few and not the many 「大勢ではなく少数の人に」
- 3 the middle class alone 「中産階級だけ」
- 4 the service sector 「サービス部門」

第2段落の最後から第2文にthe general trend of recent years — high rewards for those at the top, a shrinking of the middle class, and an increase in low-paid, insecure jobs at the bottom「最近の全般的な傾向、頂点にいる人の報酬が大きく、中産階級が縮小し、底辺の賃金が低く不安定な仕事が増加していくという傾向」といった現存する格差の問題が述べら

れている。よって2を入れればit is not much of a success to have an expanding economy if all the fruits of growth go to the few and not the many「成長の成果が全て一握りの人のものとなり、多くの人に届かなければ、経済が成長しても大成功とは言えない」となり、同一の問題点を述べているので文意に合う。

(ii) 内容説明

(5) 正解 2 Ordinary workers would be able to afford what they made 標準

Choose the answer that best expresses the meaning of the underlined phrase (5) “this was the case.”

「下線部 (5) this was the caseの意味として最も適するものを選び」

- 1 There would be extremely high rewards for workers at the top
「最上位の労働者には極めて高額報酬が与えられる」
- 2 Ordinary workers would be able to afford what they made
「一般の労働者が自分の製造したものを買う余裕がある」
- 3 Policies guaranteed that machines would not replace workers
「機械が労働者に取って代わることがないと政策によって保証される」
- 4 Technological change would damage workers' living standards
「技術革新が労働者の生活基準を損なう」

指示語を答える問題。this was the case「これは正しい」のthisの部分は前を指しているものを特定する。前文を見てみると、the workers who produced the goods could also buy them「その製品を作った労働者はそれを買うこともできる」とあるので、buyをafford, producedをmadeと言い換えている2が正解。

(6) **正解 2** We should respond to AI as we did to 20th-century technological change **標準**

With which one of the following would the author agree?

「筆者が同意するであろうものは以下のうちどれか」

1 The attempt to replace service-sector workers with AI must be resisted

「サービス部門の労働者をAIに置き換える試みはやめるべきだ」

2 We should respond to AI as we did to 20th-century technological change

「20世紀の技術革新に対処したように、AIにも対処しなければならない」

3 Humans are better than AI at recognizing patterns in large amounts of data

「大量のデータのパターンを認識することにおいて、人間はAIよりも優れている」

4 Routine service jobs such as cleaning and cooking may be wiped out by AI

「清掃や調理のようなサービス業はAIによって淘汰される」

筆者が同意する記述を答える問題。第2段落第5・6文に、20世紀の機械は仕事を奪ったがBut humans are still more innovative than machines「しかし人間は依然として機械よりも革新的だ」とあり、さらにIn the age of AI, there will still be rich rewards for the creative。「AIの時代でも、創造力に富んだ人にはまだ大きな報いがある」とある。よって、筆者は20世紀の変化と同じようにcreativityやinnovationを用いてAI時代に対応すればよいと考えていることが推測できるので2が正解。1は、AIを受け入れようとする筆者の考えと反対になるので不正解。3は第2段落第3文easy for AI are those that require complex algorithms and recognition of patterns in large quantities of data「人間にとっては難しくてもAIにとっては簡単な作業は、複雑なアルゴリズムと大量の

データのパターン認識が求められる作業」とあるようにAIの方が優れているので不正解。4は第2段落第2文it is not going to be the low-paid jobs — such as cleaners or cooks — that will disappear「消え去るのは清掃人や料理人のような賃金の低い仕事ではない」とあるように消えるのは掃除や料理のような仕事ではないことがわかるので不正解。

(7) **正解 1** those who can innovate and create **やや易**

Who will be rewarded most in the new economic environment the passage describes?

「本文で述べられている新しい経済環境において最も報酬を得るのは誰か」

1 those who can innovate and create

「発明や創造を行うことができる人々」

2 those whose jobs machines can do

「機械ができる作業を行う人々」

3 those who are better than AI at manufacturing

「製造業においてAIよりも優れている人々」

4 those who are helped by generous welfare policies

「手厚い福祉政策によって援助を受ける人々」

新しい経済環境でもっとも利益を得る人を答える問題。新しい経済環境がAIの時代だとわかればすぐに解ける問題。第2段落第7文にもIn the age of AI, there will still be rich rewards for the creative「AIの時代でも、創造力に富んだ人にはまだ大きな報いがある」とあるので正解は1になる。

(8) **正解 1** rarely favor higher wages for ordinary workers **標準**

Which one of the following best explains the meaning of the underlined phrase (8) “Ford’s 21st-century counterparts do not seem to have

learned his lesson”? Many of today’s corporate leaders 【 (8) 】 .

「下線部 (8) Ford’s 21st-century counterparts do not seem to have learned his lessonの意味として最も適するものはどれか。今日の企業のリーダーの多くは」

1 rarely favor higher wages for ordinary workers

「一般の労働者の賃金の上昇にめったに賛同しない」

2 often care if workers can purchase what they produce

「労働者が自分の作るものを買えるかどうかをよく考えてやる」

3 are interested primarily in workers’ welfare, not profit

「利益ではなく労働者の福利厚生に主に関心がある」

4 are responding innovatively to technological change

「技術革新に革新的に呼応する」

多くの指導者がFordから教訓を得ていないとあり、その具体的内容を答える問題。下線部のある文の次の文を見てみると、Most bankers, oil company executives, and IT entrepreneurs ... did not support higher minimum wages or higher taxes to pay for more education and training for workers whose jobs might be lost to new technology. 「銀行家、石油会社の重役、IT起業家のうち、エリートから成るスイスの2017世界経済フォーラム（WEF）に出席した人たちの大半は、最低賃金を上げたり、増税を行って新しい技術の誕生で仕事を失う可能性のある労働者の更なる教育や訓練を行う資金にしたりすることを支持しなかった」とあるので、Fordは従業員たちに生産したものの（車）を購入できるだけの賃金を与えていたのに対し、現在の企業は従業員の教育や将来なくなる仕事に就いている人にお金の支援をするつもりがない

ことがわかるので、正解は1になる。2と3は従業員に援助をしようとする意味なので不一致。

(9) **正解 2** The WEF has convinced leaders of the UK and the US that they must rethink the old system if they want to succeed **やや難**

Which one of the following CANNOT be inferred from the rankings of the UK and the US on the WEF index?

「WEFの指数についてイギリスとアメリカの順位から推測できないことは以下のうちどれか」

1 These countries have lower taxes, less generous welfare systems, and weaker organized labor than those in the top seven

「上位7カ国よりも税率が低く、福祉政策が弱く、労働者の組織が弱い」

2 The WEF has convinced leaders of the UK and the US that they must rethink the old system if they want to succeed

「WEFはイギリスとアメリカの指導者に、成功をおさめたいのなら古い制度を再考するべきだと説得している」

3 The UK and the US believe that market forces will produce economic growth if the market is left to itself

「イギリスとアメリカは、市場がそれ自体の手に委ねられるのなら、その力が経済成長を生むと考えている」

4 Technological change will hurt workers in these countries more than workers in Norway and the other countries mentioned

「この2カ国では、ノルウェーなど例に挙げられた国々に比べて技術革新が労働者に損害を与えているだろう」

第4段落第1文に The WEF is trying to get leaders to rethink the idea … 「WEFはリーダーたちに、～とい

う考えを改めさせようとしている」とはあるが, has convinced 「説得した」とは述べられていない。よって, 2が正解。第4段落第6文に Countries that do well on the WEF index tend to have higher taxes, generous welfare systems, and a stronger role for organized labor. 「WEFの指数で上位の国家は, 税金が高く, 福祉制度が充実しており, 組織労働の役割が強固なものとなっている傾向がある」とあり, 順位が高い国の特徴を示している。ということは順位の低い21位のUKや23位のUSはこれと逆の傾向を示しているので1は一致する。3は第3段落最終文 Most bankers, oil company executives, and IT entrepreneurs ... did not support higher minimum wages or higher taxes to pay for more education and training for workers whose jobs might be lost to new technology に当てはまる。また, 第4段落の最後から第3文には These policies soften the blow of technological change 「このような政策で技術革新の打撃が弱まる」とある。裏を返せばこういった政策を何もしていないUKやUSは科学技術の嵐に飲み込まれ, 北欧の国々より大きな打撃を受けることが推測できるので4は合致する。

(10) 正解 3 have policies that protect their standards of living 標準

The main reason that the author mentions Norway, Luxembourg, Switzerland, Iceland, Denmark, Sweden, and the Netherlands is to show that these countries 【 (10) 】 .

「筆者がノルウェー, ルクセンブルク, スイス, アイスランド, デンマーク, スウェーデン, オランダを例に挙げている主な理由は, これらの国々が」

1 have higher taxes to promote global integration

「世界的な統合を促進するために税率が高いから」

2 have suffered from weakened free market policies

「自由市場政策の弱さに悩んでいるから」

3 have policies that protect their standards of living

「生活水準を保護する政策をとっているから」

4 have had their way of life changed by immigration

「移民によって生活様式が変化したから」

WEF調査で上位にいる国を筆者が示している理由を答える問題。WEFの基準は第4段落第6文で WEF index tend to have higher taxes, generous welfare systems, and a stronger role for organized labor 「WEFの指数で上位の国家は, 税金が高く, 福祉制度が充実しており, 組織労働の役割が強固なものとなっている傾向がある」と示されている。そして第7文から, 設問に出てくる国々が(これらの基準を満たしているため)上位にいるとわかる。よって「生活水準を保護する政策がある」とした3が正解になる。1は to promote global integration の部分が不一致。2, 4に関しては記述がない。

■ 和訳.....

新技術が開発される度に, 失われる仕事があるという不安が生じたり, 新しい仕事生まれるという希望が生まれたりする。例えば産業革命後, 労働者は機械に取って代わられるのを不安視していた。しかし不安はほとんど無用だった。消えた仕事もあるが, 新しい工場によって多くの新しい種類の仕事生まれた。工場の機械を組み立て, 維持し, 操作するのに労働者が必要となったためだ。社会は順応し, 経済は成長し, 生活水準は上昇した。

人工知能(AI)が発達し, 新たな技術革新の波が迫ってきている。経済学者のダバル・ジョシが記しているように, 今回リスクにさらされているのはサービス部門の仕事だが, 消え去るのは清掃人や料理人のような賃金の低い仕事ではない。「人間にとっては難しくてもAIにとっては簡単な作業は, 複雑なアルゴリズムと大量のデータのパターン認識が求められる作業です」とジョシは言う。さらに「チェスの試合で達人を打ち負かしたり, 金融投資のリスクを算出したり, 報告書を英語から中国語に翻訳したりするのは, AIが最も得意にしていること」と

言う。20世紀の後半に多くの機械が生まれ、製造業で賃金の高い仕事が消滅した。新たに多くの機械が生まれたことで、サービス部門で賃金の高い仕事が消滅しようとしている。しかし人間は依然として機械よりも革新的だ。機械が人間の脳の産物であることに変わりはない。AIの時代でも、創造力に富んだ人にはまだ大きな報いがある。そのような人の数は減少するため、最近の全般的な傾向、——頂点にいる人の報酬は大きく、中産階級が縮小し、底辺の賃金が低く不安定な仕事が増加していくという傾向は拡大していくだろう。AIによって新しい産業革命が起こり、爆発的に成長することを私たちは歓迎すべきだ。

以前の大きな技術革新の時代では、同時に政治変革が起こり、製品を製造する労働者が確実にその製品を買うようになっていった。完全雇用政策、累進課税、強固な労働組合、そして政府が教育や医療などの福祉プログラムに支出することで、それが確実に実現するようになっていったのだ。民間部門では、大成功を収めた実業家のヘンリー・フォードは、確かに主として利益に興味を持つ資本家ではあったが、自社の従業員が買えない車を製造しても無意味なことを理解していた。競合相手とは違い、フォードは一般労働者に1日5ドルの賃金を支払ったのだが、それは20世紀初頭では高額で、前代未聞だった。フォードに比せられるような21世紀の起業家たちは彼の教訓、つまり政治的変革は技術的混乱と密接に関連しているという教訓を学んでいないように思える。銀行家、石油会社の重役、IT起業家のうち、エリートから成るスイスの2017世界経済フォーラム（WEF）に出席した人たちの大半は、最低賃金を上げたり、増税を行って、新しい技術の誕生で仕事を失う可能性のある労働者の更なる教育や訓練を行う資金にしたりすることを支持しなかった。

WEFはリーダーたちに、「市場に干渉するようなことを一切しなければ、経済成長は付いてくる」という考えを改めさせようとしている。WEFが指摘しているのは、「成長の成果が全て一握りの人のものとなり、多くの人に届かなければ、経済が成長しても大成功とは言えない」ということだ。先進国26カ国において平均所得が2008年から2013年の間に2.4%減少している点に注目している。WEFの主張では、成長することで確実に生活水準が向上していくようにしていた旧来のシステムが弱体化しているが、それは技術革新やグローバル化、自由市場政策、移住の結果だ、ということ。国家をGDPで格付けするのではなく、WEFは独自の包括的な開発指数を用いている。WEFの指

数で上位の国家は、税金が高く、福祉制度が充実しており、組織労働の役割が強固なものとなっている傾向がある。このような政策で技術革新の打撃が弱められる。ノルウェー、ルクセンブルク、スイス、アイスランド、デンマーク、スウェーデン、そしてオランダが上位7カ国なのは驚くべきことではない。イギリスは21位で、アメリカは23位となっている。

■ 語句.....

- 第1段落 replace 「～を取り替える」 adapt 「～に適応する」
- 第2段落 at risk 「危険がある」 algorithm 「数学的解法」
wipe out 「～を取り除く」 be about to 「～するところである」 shrink 「縮小する」 insecure 「危険な」 burst 「爆発的な拡大」
- 第3段落 accompany 「～を伴う」 ensure 「～を保証する」 capitalist 「資本主義者」 there is no point in Ving 「Vしても無駄だ」 turn out 「結局～する」 counterpart 「相手」
hand in hand 「協調して」 disruption 「分裂」
entrepreneur 「起業家」
- 第4段落 interfere 「～を妨げる」 point out 「～を指摘する」 fruit 「果物、成果」 median 「平均の」 inclusive 「包括的な」 generous 「寛大な」

II

解答時間の目安 20分

■ イントロダクション.....

文章自体は全体のトピックがつかめれば読みやすい。空所補充問題も、内容一致問題も確実に正解したい。

■ 設問解説.....

(i) 空欄補充

(11) 正解 1 get down to やや難

- 1 get down to 「専念する」
- 2 go out of 「外に出る」
- 3 make friends in 「友達を作る」
- 4 put up with 「我慢する」

第1段落第3文に Now, work has become more of a place to do business. 「現在、仕事は以前よりもビジネスの場と化している」とあり、第2段落第4文に Americans may increasingly focus their efforts on forming friendships outside of work 「アメリカ人は仕事以外で友情を築くために努力するようになってきている」とある。つまり、アメリカ人は仕事場では仕事に集中し、仕事外で友達を作るようになってきているとわかる。よって1を入れて Why are Americans so determined to get down to business today? 「なぜ現在アメリカ人はそこまでかたくなに仕事に専念しようとするのか」とすれば、職場は社交の場ではなく仕事に専念する場になっている、という文意に合う。4の **put up with** 「我慢する」≒ **stand/endure/tolerate** も覚えておこう。

(12) 正解 2 in touch with やや易

- 1 **behind the backs of** 「～の背後に」
- 2 **in touch with** 「～と連絡を取って」
- 3 **on the phone to** 「～と電話で話して」
- 4 **without benefit of** 「～に利益がなく」

空欄のある文には we can visit them (= old friends) anytime 「いつでも会える状態になっている」や第6文 Being connected to the Internet round the clock 「24時間インターネットに接続している」とある。よって、2を入れて、インターネットに24時間接続しているので、we're constantly in touch with old friends on social media 「常にSNS経由で友人と接触して、いつでも会える状態になっている」とすれば文意に合う。

(13) 正解 4 taken for granted 標準

- 1 **actively disapproved of** 「あからさまに非難される」
- 2 **considered out of date** 「時代遅れと見なされる」
- 3 **disliked by men** 「男性に嫌われる」

4 taken for granted 「当然と思われる」

空所を含む文 Racial and gender diversity at work is now more common 「職場での人種と性は現在さらに多様化している」から、人種的、性的な多様性がより一般的になっていることがわかる。and even 【(13)】には、この common 「一般的な」と並列にされる語句が入るので4が文意に合う。2の out of date 「時代遅れ」は逆の意味になってしまう。

■ grant の用法

(grant A B) 「AにBを許可する (= grant B to A)」

(take ~ for granted) 「～を当然と思う

(名詞) 「助成金」

(ii)

(14) 内容説明 正解 3 We tend to ignore them to avoid trouble 標準

The expression (14) “single-serving friends” implies all of the following EXCEPT:

「以下のうちで (14) single-serving friends という表現に含まれていないのは」

- 1 **We only share part of our lives with them**
「私たちはただ彼らと人生を共有しているだけである」
- 2 **We talk with them for a specific purpose**
「私たちは彼らと特定の目的で会話を交わす」
- 3 **We tend to ignore them to avoid trouble**
「私たちは面倒ごとを避けるために彼らを見無視する傾向がある」
- 4 **We don't allow the friendship to deepen**
「私たちは友情を深めることをしない」

“single-serving friends” が含意していないものを答える問題。第4段落第4文 We view co-workers as a temporary presence in our lives, greeting them politely,

but keeping them at arm's-length distance 「同僚を人生の一時的な存在と見なし、礼儀正しく挨拶はするが、親密な関係になろうとはしない」とある。この temporary presence 「一時的な存在」の部分が1に当たる。また、あいさつや仕事でしか話さないため2も含意されている。距離をとっている存在で親しくなろうとはしないので4も推測できる。トラブルを起こさないように〈無視する〉とまでは述べられていないので3が正解。

(15) 内容説明 **正解 3** Workers expect to change jobs several times in their lives **標準**

Which one of the following does the economic explanation for the decline in workplace friendships include?

「職場での友人関係が弱まることについて、経済的には以下のうちどのようなことが説明されているか」

- 1 The Protestant work ethic has all but disappeared today
「プロテスタントの職業倫理は今日では消えたも同然である」
- 2 Companies are encouraging workers to share meals at work
「企業は従業員が職場で食事を共にすることを奨励している」
- 3 Workers expect to change jobs several times in their lives
「労働者は生涯に何度か職を変える」
- 4 New technology relieves pressure on workers to get work done
「労働者が受ける職務遂行へのプレッシャーが新しい技術によって和らげられる」

職場での友好関係を作ることが減ってきている経済的理由を答える問題。第4段落2・3文目に Instead of spending our careers with one company, Americans expect to move on every few years. Since we don't

expect to be in one place forever, we don't take the time or make the effort to form friendships. 「アメリカ人は、キャリアを1社で終えるのではなく、数年ごとに転職するつもりでいる。ずっと同じ場所に居座るつもりはないため、時間を割いたり努力したりしてまで、友情を築こうとはしないのだ」とあるように一つの会社に長く残らず転職をするため、わざわざ友好関係を作ろうとしないことがわかる。よって3が正解。2は第8段落最終文に出てくる Googleなどの会社が奨励していること。

(16) 内容説明 **正解 3** It was firmly rooted in the Protestant Reformation **標準**

How did Max Weber explain the American attitude to work?

「アメリカ人の仕事に対する態度をマックス・ウェーバーはどのように説明しているか」

- 1 It was related to the American practice of slavery
「アメリカの奴隷制度に関連がある」
- 2 It was based on the duty a worker owed to the employer
「従業員が雇用主に負っている責務に基づいている」
- 3 It was firmly rooted in the Protestant Reformation
「プロテスタントの宗教改革に強く根付いている」
- 4 It was in contrast to the American attitude toward religion
「アメリカ人の信仰に対する態度とは対照的である」

Max Weberがアメリカ人の仕事への態度について説明しているものを答える問題。第6段落第1文 The sociologist Max Weber argued that the Protestant Reformation had a peculiar effect on American work.

「社会学者のマックス・ウェーバーは、宗教改革がアメリカの労働に特異な影響を与えたと主張した」とあるように宗教改革をもたらした影響があるとMaxは考えているので、これを **be rooted in** 「～に根付いている」を使って言い換えた3が正解になる。4はこの部分の記述に矛盾する。第2文に Leaders of that Reformation believed that hard work in any job was a duty demanded by God. 「宗教革命の指導者たちの考えは、各自の仕事に献身するのは神が求める義務だというものだった」とあるように雇用者に対しての義務ではなく神に対しての義務と書かれているので2は不正解。

(17) 内容説明 正解 2 The purpose of work is to ensure there is enough time to enjoy life outside work **標準**

Which one of the following is TRUE about millennials' attitude toward work?

「ミレニアル世代の仕事に対する態度として当てはまるのは以下のうちどれか」

1 They like their leisure time, so they place great value on work friendships

「余暇の時間を好むので、職場での友好を強く重視している」

2 The purpose of work is to ensure there is enough time to enjoy life outside work

「仕事の外での人生を楽しむ時間を確保するのが働く目的である」

3 Life is made up of little more than just socializing with colleagues from the office

「人生においては職場の同僚と交際するのがせいぜいである」

4 Lifestyle choices can convince them that a joyful attitude toward work is normal

「生活様式の選択いかんでは、仕事を楽しむのが普通の態度であると納得する場合もある」

millennialsの仕事への態度を表しているものを答える問題。第7段落第3・4文に 31 percent of millennials said they highly valued more than two weeks of vacation time. When we see our jobs primarily as a means to leisure, it is easy to convince ourselves that efficiency and productivity are most important so that we have time for friendships outside work. 「ミレニアル世代の31%が、『2週間以上の休暇の時間が非常に重要だ』と答えている。仕事を主に余暇の時間を得るための手段と見なすと、『仕事以外で友情を築くための時間を持つために、(仕事では) 効率性と生産性が何より重要になる』と自分に言い聞かせやすくなる」とあるように仕事を早く終わらせ、外で友達と余暇を楽しむことを優先していることがわかる。よって仕事の目的は余暇を楽しむ時間をとることだとわかるので正解は2。enjoy lifeは「人生を楽しむ」という意味。1は職場での友好関係には重きを置いていないので、3は職場の同僚と遊ぶことに重きを置いていないのでどちらも矛盾している。仕事を楽しむとは書かれていないので4も不可。

(18) 内容説明 正解 1 Participating in activities with colleagues in the company can nurture better workplace relationships **標準**

With which one of the following does the author agree?

「筆者が同意するであろうものは以下のうちどれか」

1 Participating in activities with colleagues in the company can nurture better workplace relationships

「会社の活動に同僚と参加することで、職場のよりよい人間関係を育むことができる」

2 Although it is regrettable that fewer American workers form friendships at work, it cannot be helped

「職場で友人関係を作るアメリカ人が減っているのは残念なことだが、仕方がない」

3 Younger workers tend to put more effort into making friends at work than workers from the older generation do

「若い労働者は、年上の世代よりも職場で友人を作る努力をする傾向がある」

4 Full-time employees should keep their jobs as long as they can maintain a polite distance from their colleagues

「常勤の従業員は、同僚との礼節を保てる限りは今の職業を続けるべきだ」

筆者が賛同することを答える問題。第8段落2文目の Jobs are more satisfying when they provide opportunities to form friendships. 「友情を築く機会が得られると仕事の満足度が高まる」や最終文 playing and eating together are good ways to promote workplace cooperation 「遊びや食事を共にすることが職場の協力関係を強める良い方法となる」とあるように職場で友好関係を作れば仕事楽しくなるし、職場の人と遊ぶことで職場内の関係がよくなることがあるということがわかる。つまり、筆者の意見は職場で友好関係を作っていくべきだということである。よって games, exercise, meals, playing, eating を activities と言い換えた1が正解。2は真逆。3は若い人に限定しているため不正解。4 はフルタイムの話は出てきてないので不正解。

(19) 内容説明 正解 4 They increase workers' job satisfaction 標準

Choose one statement that reflects the author's view of workplace friendships.

「職場での友人関係について筆者の考えが反映されているものを選び」

1 They promote competition among workers

「従業員同士の競争意識を高める」

2 They distract workers from their duties

「仕事をする従業員の気が散る」

3 They waste valuable time in the workplace

「職場での貴重な時間を浪費している」

4 They increase workers' job satisfaction

「従業員の仕事に対する満足度が高まる」

職場での友好関係についての筆者の見解を答える問題。第8段落第2文に Jobs are more satisfying when they provide opportunities to form friendships 「友情を築く機会が得られると仕事の満足度が高まる」とあるように、職場での友好関係が仕事を楽しくしてくれると書かれている。よって正解は4。競争を促すとは書かれていないので1は不正解。2や3はマイナスの意見なのですぐに不正解だとわかる。

(20) 主題選択 正解 1 Friends at Work: How and Why American Attitudes Have Changed

やや易

What is the most appropriate title for this passage?

「この文章に最も適する表題はどれか」

1 Friends at Work: How and Why American Attitudes Have Changed

「職場の友人：アメリカ人の意識はいかにして、どのように変化したか」

2 Positive Views of Socializing in the Workplace: The Religious Origins

「職場での交友についての前向きな見方：その宗教的起源」

3 How Changes in Employment Policy Have Influenced Young Workers

「雇用政策の変化がいかにして若い労働者に影響を与えたか」

4 Why American Business Should Discourage Social Interaction at Work

「なぜアメリカの企業は職場での交友を抑制するべきか」

最も適切なタイトルを選ぶ問題。全体を通してアメリカ人の職場での友好関係がどのように変わったのかが述べられていた。よって一番適切なタイトルは1だとわかる。宗教に関する記述は第6段落に出てきたが、これは仕事の効率を求め社交を減らす見方なので2は矛盾する。3は、雇用制度の変化とその若者への影響については書かれていないので不正解。職場での友好関係作りを推奨している会社の例が最終段落に出てきているので4は不可。

■和訳.....

数十年前、アメリカで仕事は友情の大きな源泉だった。家族を会社のピクニックに連れていったり、同僚を自宅に招いて夕食を共にしたりした。現在、仕事は以前よりもビジネスの場と化している。会社に行くのは効率的であるためであり、友情を築くためではない。(業務を行う上で)生産的な会話は多いが、意義ある人間関係は減っている。

1985年、アメリカ人の約半数が、職場に親友がいると答えている。2004年までには、これが当てはまるのはわずか30%になってしまった。最近全米で卒業を控えたアメリカの高校生を対象に行われたいくつかの全国調査で、友人を作れる仕事を見つけるのが重要だと答えた人の率は、1976年に54%だったものが、2006年には41%まで減少した。友人と会社を始めることはあっても、同僚と友人になることはない。アメリカ人は仕事以外で友情を築くために努力するようになってきているが、これは世界的なスタンダードではない。例えば、最近の調査では、近しい同僚を自宅に招くアメリカ人が32%に過ぎなかったのに対し、ポーランド人の場合には66%、インド人の場合には71%と報告されている。

なぜ現在アメリカ人はそこまでたたくに仕事に専念しようとするのか？

経済的に説明すると、長期雇用や終身雇用が大部分消滅してしまっていることが挙げられる。アメリカ人は、キャリアを1社で終えるのではなく、数年ごとに転職するつもりでいる。ずっと同じ場所に居座るつもりはないため、時間を割いたり努力したりしてまで、友情を築こうとはしないのだ。同僚を人生の一時的な存在と見なし、礼儀正しく挨拶はするが、親密な関係になろうとはしない。本当の友情は仕事以外に取っておく。同僚の扱いは、飛行機や長距離列車で隣に座って少し会話をす

見知らぬ人の扱いと変わらないことが多く、1回限りの友人になってしまうのだ。

フレックス制や在宅勤務が原因と考える評者もいる。遠隔勤務をする人が増えると、友情を築くために不可欠な対面接触の機会が減る。しかし最近の研究でわかったのは、1週間に2.5日会社にいれば、「在宅勤務は全般的に職場の人間関係の質に悪影響を及ぼさない傾向がある」ということだ。しかしそれでも科学技術は人間関係に影響を及ぼす。常にSNS経由で友人と接触して、いつでも会える状態になっていると、なぜわざわざ新しい友人を作る必要がなくなってしまうのか？ 24時間インターネットに接続していると、時間がますます足りなくなり、仕事を終わらせるプレッシャーの方が人付き合いをしたいという気持ちよりも大きくなってしまふ。24時間刻みのスケジュールの奴隷になってしまうのだ。

社会学者のマックス・ウェーバーは、宗教改革がアメリカの労働に特異な影響を与えたと主張した。宗教革命の指導者たちの考えは、各自の仕事に献身するのは神が求める義務だというものだった。さらに踏み込んで、仕事の間は社交を慎むべきだと考える人がいた。「人間関係や感情に注意が向くと散漫になり、神の意志を生産的に実行できなくなる」というのがその理由だ。次第にこのような考えがプロテスタントに影響を及ぼし、仕事を「生産性の方が人間関係よりも重要な場所」と見なすようになっていった。特にプロテスタントの男性は、仕事は真剣な活動で、社交と混同すべきではないと教えられていた。20世紀の大部分において、アメリカの職場を築いたのは主にプロテスタントの男性だ。しかし近年では、アメリカではプロテスタントの比率が著しく減少しており、1950年代ではおよそ70%だったものが、2014年には37%になっている。プロテスタントのCEOも減少した。職場での人種と性は現在さらに多様化しており、それが当然視されている。企業風土は変化した。それではなぜプロテスタントの労働倫理が存続しているのだろうか？

性別や人種、宗教を問わず、世代的な変化が起こり、「職場は主に仕事を行う場所だ」という考えが強まった。余暇の価値が着実に高まっている。最近行われた調査では、ミレニアル世代の31%が、「2週間以上の休暇の時間が非常に重要だ」と答えている。仕事を主に余暇の時間を得るための手段と見なすと、「仕事以外で友情を築くための時間を持つために、(仕事では)効率性と生産性が何より重要になる」と自分に言い聞かせやすくなる。

しかし私たちは職場での友情が幸福と効率性に与える影響を過小評価している可能性がある。友情を築く機会が得られると仕事の満足度が高まる。友人と仕事を共にすると、信頼度が高まり、互いが成功するよう献身的になる。GoogleやFacebookのような企業は、従業員がゲームや運動、食事を一緒にするための機会や施設を現在提供しており、研究を見てみると、遊びや食事を共にすることが職場の協力関係を強める良い方法となるようだ。

■ 語句.....

- 第1段落 decade 「10年」
- 第2段落 proportion 「割合」 effort 「努力」 norm 「規範」 whereas 「～する一方で」
- 第3段落 get down to 「～に専念する」
- 第4段落 temporary 「一時的な」 politely 「礼儀正しく」 keep 0 at arm's-length 「0を近づけない」 next to 「～の隣に」 single-serving 「一度きりの」
- 第5段落 blame 「～を非難する」 critical 「批判的な」 telecommuting 「遠隔地での勤務」 in touch with 「～と連絡を取り合って」 round the clock 「1日中、絶え間無く」 shortage 「不足」
- 第6段落 peculiar 「特異な」 socialize 「交際する」 distract 「～の気をそらす」 over time 「徐々に」 noticeably 「顕著に」 racial 「人種の」 diversity 「多様性」 take 0 for granted 「～を当然のものと思う」 ethic 「道徳」 persist 「存続する」
- 第7段落 reinforce 「～を強める」 conduct 「～を行う」 convince 「～を確信する」
- 第8段落 underestimate 「～を過小評価する」 commit 「関与する」 facility 「設備、施設」

III

解答時間の目安 20分

■ イントロダクション.....

文章自体は読みやすい。空所補充も文法知識、文脈で正解できるので易しめである。言い換え問題に難問が入っているが、内容一致も解きやすいものが

多い。

■ 設問解説.....

(i) 空欄補充

(21) 正解 4 So too やや易

- 1 Also like 「また～のような」
- 2 Much as 「～と同じだけ」
- 3 Same for 「～に共通の」
- 4 So too 「～も同じで」

選択肢の中に主語になれる複数形の名詞はない。よって、空欄の後ろのare the impactsは〈be動詞＋主語〉の倒置の形になっているとわかる。空所のある文の前文にthe scale of our throwaway habits is startlingly clear 「使い捨ての習慣の規模は一目瞭然だ」というbe動詞を含む文があるので、4を入れSo too are the impactsとすればThe impacts of our throwaway habits are clear tooを表すので文法上意味上適切な形が出来上がる。So is/are Sという倒置の形は有名だがSo too is/are Sという形もよく使われる。ほかの選択肢は直後に名詞を置かなければならないので不適切。

■ 倒置の例

(補語の強調)

Great was the movie's reputation.

「その映画の評判は大変なものだった」

(否定の副詞)

Never did I imagine that Bob would become a doctor.

「ボブが医者になるなんて想像もしなかった」

(ifの省略)

Were I rich, I would buy the car.

「私がお金持ちだったらその車を買うのに」

(so/neither/norが文または節の先頭に出る例)

My husband doesn't drive, and neither do I.

「夫は運転しませんし、私もしません」

(22) 正解 4 vital 標準

- 1 exceptional 「並外れた, 例外的な」
- 2 obliged 「義務がある」
- 3 unrelated 「関係のない」
- 4 vital 「不可欠な」

第7段落では、人々がボトルを返却することを政府が可能にした例が述べられている。空所を含む文に But if the government is key, citizens are (key) as well 「しかし政府だけでなく、市民も鍵を握っている」とあり、政府も市民も重要だと書かれているので、personal values were 【(22)】to changing consumption patterns and conserving resources に key の言い換えになれる4を入れれば「個人の価値観も変革に欠かせない」という趣旨になり文意に合う。

(23) 正解 2 disagreed 標準

- 1 anticipated 「予期した」
- 2 disagreed 「反対した」
- 3 retreated 「避難した」
- 4 supplemented 「補足した」

第7段落では消費者ひとりひとりの personal values を変えることの大切さが述べられている。それに対し、空所のある文の次の文で Adam Lusby は Consumers were the wrong target 「消費者を対象にするのは誤りだ」と述べているので、第7段落に述べられている意見に同意していないことがわかる。よって2が正解。

(ii)

(24) 内容説明 正解 3 Everyday consumption needlessly creates plastic waste やや難

What does John Sauven mean by ⁽²⁴⁾ “a complete failure of the system”?

「ジョン・ソーベンによると、⁽²⁴⁾ a complete failure

of the system とはどんな意味か」

1 The global eco-system is influenced by human activities

「全地球の生態系は人間の活動に影響を受ける」

2 The prices of products are determined by the packaging

「製品の価格は包装によって決まる」

3 Everyday consumption needlessly creates plastic waste

「日常の消費が不必要にプラスチックの廃棄物を生んでいる」

4 Croissants are wrapped in different types of materials

「クロワッサンは様々な材質で包装されている」

下線部 a complete failure of the system の内容を具体的に問う問題。第1段落第3文 If I bought two croissants in a brown paper bag, it was 79 pence each, and if I bought them in a big plastic container it was 63 pence each 「茶色い紙袋に入ったクロワッサンを2個買ったなら、1個当たり79ペンスだったのですが、大きなプラスチックの容器に入ったものを買ったら、1個当たり63ペンスだったのです」とあり、紙の袋に入ったものを買うよりプラスチック容器に入ったものを買ったほうが安いという現象が起きていたことがわかる。第2段落で、この文章が環境に関するものだとなる。環境に悪いプラスチックの方が環境にやさしい紙よりも安い=多くの人が環境に悪い方を選択してしまう、という状況が起こっているとわかる。よって必要以上にプラスチックのゴミを生み出しているとした3が正解。1は human activities が世界の生態系に影響を与えているとは書かれていないので不正解。2は「商品の値段が包装で決められること」がシステムの破綻になってはいない。4のクロワッサンは直接的な原因ではない。

(25) 内容説明 正解 1 Packaging should be designed to be re-used as much as possible 標準

Which one of the following is most consistent with the idea of the “circular economy”?

『循環経済』の発想に最も合うものは次のうちどれか

1 Packaging should be designed to be re-used as much as possible

「包装はなるべく再利用できるように考案するべきだ」

2 Organizations will now have to see the eco-friendly cycle as radical

「行政は今や環境に配慮した循環を急進的なものと見なさなければならない」

3 Each company ought to be held responsible for its own product distribution

「それぞれの企業が製品の供給に責任を持つべきだ」

4 The round-table participants must solve the current waste problem

「円卓会議の参加者は今日のごみ問題を解決しなければならない」

circular economyについて正しいものを答える問題。第3段落第3文 A key idea under discussion was the “circular economy,” a model that aims to keep resources in a continuous, eco-friendly cycle, rather than send them to the dump after first use. 「議論の中心となった概念は『循環経済』で、一度使っただけでゴミ処理場送りにするのではなく、持続的で環境に優しい形で資源を循環させていくことを目的とするモデルになっている」とあるように一回で捨てるのではなく再利用していこうとする考えであることがわかる。よってこのことを述べている1が正解だとわかる。2は radical 「急進的」だとみなさなければならないとは書かれていないので不正解。3は自社製品の供給に責任を持つようには言われていない。あくまで資源を再利用することが目的であるので不正解。

(26) 内容説明 正解 4 A trendy idea that is often discussed but rarely put into practice 標準

What does John Sauven mean by his use of the term ⁽²⁶⁾ “buzzword”?

「ジョン・ソーベンが ⁽²⁶⁾ buzzword をどのような意味で用いているか」

1 A controversial idea that is not spoken but usually implied

「はっきり述べられずに示唆され、議論を呼ぶ考え」

2 An old idea that is out of fashion but still taught in schools

「時代遅れなのに学校ではまだ教えられている古い考え」

3 A new idea that is widely known but hardly used in economics

「広く知られているが、経済界ではほとんど使われない新しい考え」

4 A trendy idea that is often discussed but rarely put into practice

「流行している考えで、広く議論されるがほとんど実行に移されない考え」

buzzword の文章内での意味を答える問題。第3段落第4文 Sauven argued that without greater ambition and more radical change from business, the circular economy risked becoming another ⁽²⁶⁾ buzzword. 「会社からの強い思いや革新的な変化がなければ、循環経済は buzzword になる危険がある」とあり、その後 we don't keep creating words which don't actually mean very much 「実際にあまり意味のない言葉を生み出し続けられないようにしていく」とあり、どんどんと作り出されるものなので new の入った3か trendy の入った4に絞られる。そして don't mean very much 「ほとんど意味のない」の部分を、「めったに実行に移されない(無意味なもの)」と表した4が正解。3は economics に限定しているわけではないので不可。buzzword

「流行している業界用語」はよく使われるので知っておいてもよい単語。

(27) 語句言い換え **正解 1** adjusting **難**

Which one of the following is closest in meaning to the expression ⁽²⁷⁾ “tinkering with”?

「⁽²⁷⁾ tinkering with という表現に最も意味が近いものは次のうちどれか」

- 1 adjusting 「調整する」
- 2 assessing 「評価する」
- 3 constructing 「建設する」
- 4 delivering 「引き渡す」

tinker withは「～の下手な修理をする」という意味。これに最も近いのは1 adjustingである。文脈を使っても2や3を消去できないため知識で解く問題だが、受験生でこの表現を知っている人はほとんどいないため捨て問である。

(28) 内容説明 **正解 2** Coca-Cola became a symbol of the waste problem because of Greenpeace **やや易**

Which one of the following best explains the underlined phrase ⁽²⁸⁾ “thanks in part to a high-profile campaign by Greenpeace”?

「下線部 ⁽²⁸⁾ thanks in part to a high-profile campaign by Greenpeace の説明として最も適するのは次のうちどれか」

- 1 Coca-Cola researched the impact of DRS in collaboration with Greenpeace
「コカ・コーラはグリーンピースと協力してDRSの影響を調査した」
- 2 Coca-Cola became a symbol of the waste problem because of Greenpeace
「コカ・コーラはグリーンピースによってごみ

問題の象徴となった」

3 Greenpeace praised Coca-Cola's contribution to good waste management

「グリーンピースはコカ・コーラがごみ問題へのよい取り組みに貢献したと賞賛した」

4 Greenpeace has conducted a campaign to collect Coca-Cola bottles

「グリーンピースはコカ・コーラのボトルを集める運動を実施した」

第4段落第2文に The soft drinks giant has become a symbol of big business's contribution to the waste problem ⁽²⁸⁾ thanks in part to a high-profile campaign by Greenpeace, which claims the company generates more than 100 billion plastic bottles a year. 「このソフトドリンク大手は、ゴミ問題の一因となっている大企業の象徴となっている。グリーンピースがキャンペーンを行って、同社が年間1,000億本以上のペットボトルを生み出していると主張し、注目を集めたことがその一因となっている」とある。Greenpeaceがコカ・コーラが多くのごみを生み出していると主張したため、コカ・コーラ社がごみ問題の象徴のように思われるようになったので正解は2だとわかる。非常に易しい問題。1は「グリーンピースと協力して」とは書かれていないので不可。3は、コカ・コーラを褒めたのではなくむしろ非難したので不正解。4は「グリーンピース自体がコカ・コーラのボトルを集める運動をした」とは書かれていないので不正解。

(29) 内容説明 **正解 4** A business model that values regional economic activities is required

標準

Which one of the following is Carina Millstone's main point?

「カリナ・ミルストンが主に述べているのは次のうちどれか」

1 Having an old pair of shoes repaired is cheaper than buying a new one

「中古の靴を修繕する方が新品1足を買うよりも安い」

2 Skilled workers have disappeared because of the use of modern materials

「新しい材質を利用することで熟練工が減ってきている」

3 It's difficult to maintain local businesses without government support

「政府の支援がないと地場産業を続けていくのは難しい」

4 A business model that values regional economic activities is required

「地域の経済活動に重点を置いたビジネスモデルが求められている」

Carina Millstoneの論点を答える問題。第5段落の第4文にrequire a “re-regionalization of economies,” away from the low-cost globalized production model 『『経済の再地域化』を行い、低価格の世界的生産モデルから脱却する必要がある』とあり、最後から2文目にMillstone is not alone in seeing a “local, vibrant economy” as key to solving an integrated set of challenges to our resources and society. 「地方経済を活性化することが私たちの資源と社会にとっての一連の難題を解決するカギを握っていると考えているのは、ミルストーンだけではない」とある。つまり、地域を重視した考え方なので4が正解。3は第6段落でDavid Palmer-Jonesが述べていること。

(30) 内容真偽 **正解 2** Companies that use unsustainable resources should pay lower taxes

標準

Which one of the following was NOT mentioned at the round table?

「円卓会議で言及されていないのは次のうちどれか」

1 The consumption-based business model damages the environment

「消費ベースのビジネスモデルは環境の害になる」

2 Companies that use unsustainable resources should pay lower taxes

「持続可能な資源を利用する企業には税金を軽減するべきだ」

3 Local initiatives can offer ideas to deal with the waste problem

「地元の主導によってごみ問題に取り組むための発想がもたらされる」

4 Initially, businesses in Estonia were reluctant to adopt the DRS

「最初のうちはエストニアの産業界はDRSに及び腰だった」

会議で述べられていないことを答える問題。第5段落第2文でenvironment-damaging, consumption-based business model 「環境を破壊するような消費ベースのビジネスモデル」とあるのでこれが1に当たる。第5段落第4文からMillstoneが廃棄物問題の解決のカギは地域だと述べているので、地域が主導することが理想だと述べた3は合致する。第7段落第5・6文“The discussion here is exactly the same as in Estonia 12 years ago. Everyone was fighting against the return scheme. 「ここ（英国）で議論されているものは、12年前にエストニアで行われたものと全く同じです」とあり、エストニアでも12年前は返却することに全員が賛成している様子はなかったことがわかるので、これに4は合致する。税金の話はどこにも出てきていないので2が正解。

(31) 内容真偽 **正解 2** Most consumers have stopped buying products packaged in plastic

やや難

All of the following are TRUE EXCEPT: [(31)].

「次のうち当てはまらないのはどれか」

1 Coca-Cola expressed its intention to help solve the waste problem

「コカ・コーラはごみ問題の解決を支援していく意思を表明した」

2 Most consumers have stopped buying products packaged in plastic

「大半の消費者がプラスチックで包装された製品を買うことをやめた」

3 Lusby thinks government action can make society more eco-friendly

「政府の働きかけで社会がより環境に配慮するようになるとラスビーは考えている」

4 The circular economy offers a model for how resources can be used

「循環経済によってどのように資源を利用するかモデルが示される」

本文の内容に一致しないものを選ぶ問題。第4段落最終文It (= Coca Cola) has also launched a campaign to encourage people to recycle and to stop littering. 「またコカ・コーラ社は、リサイクルしてごみを散らかすのを止めるよう奨励するキャンペーンを立ち上げた」と廃棄物問題に対して運動を始めたと書かれているので1は正しい。第8段落第3文でa better designed economy, one which, as a first step, would tax non-renewable resources 「経済の構造を改善していく第一歩は、再生不可能な資源に課税することになる」とあるように、代替不可能の資源に税金をかける経済にしていこうとLusbyは述べている。税金を課すのは政府の介入によるものなので3はこれに合致する。第3段落第3文に“circular economy,” a model that aims to keep resources in a continuous, eco-friendly cycle, rather than send them to the dump after first use 「一度使っただけでごみ処理場送りにするのではなく、持続的で環境に優しい形で資源を循環させていくことを目的とする、『循環経済』というモデル」とある。循環経済は資源を再利用していこうとする考え方なので、資源の使い方を示している。よって4は正しい。ほとんどの消費者がプラスチックで包装さ

れたものを買わなくなったとはどこにも書かれていないので、2が正解。

■和訳

英国グリーンピースのジョン・ソーベン事務局長は、ある女性がラジオで「スーパーのクロワッサンは紙袋に入ったものよりもプラスチックの容器に入ったものの方が安い」と不満を漏らすのを聞いて仰天し、すぐに地元の生協に足を運んだ。「本当でした。茶色い紙袋に入ったクロワッサンを2個買ったら、1個当たり79ペンスだったのですが、大きなプラスチックの容器に入ったものを買ったら、1個当たり63ペンスだったのです。これはシステムが大失敗に終わっているということになります」

その失敗は勿論、クロワッサンだけに当てはまるものでは決していない。英国では去年30万トンの衣類がごみ処理場送りになり、毎日700万個のコーヒーカップが捨てられるなど、使い捨ての習慣の規模は一目瞭然だ。その影響も同様だ。エレン・マッカーサー財団が「2050年までに海には魚よりもプラスチックの方が多くなる」と予想したのは今や周知のことだが、袋やボトルが海岸に打ち上げられたり、海洋生物がプラスチックのネットに絡んだりしたりしている画像は、その証拠となっている。

この危機に対処する上でビジネスが果たすべき役割は、産業や政策の世界で激しい議論のテーマとなっている。それは最近行われた円卓会議、スエズというリサイクル資源管理企業がスポンサーとなった会議でも顕著だった。議論の中心となった概念は「循環経済」で、一度使っただけでごみ処理場送りにするのではなく、持続的で環境に優しい形で資源を循環させていくことを目的とするモデルになっている。ソーベンの主張は、「企業が志を高くして、更に徹底的に改革を行っていかねければ、循環経済という言葉もただの流行語になってしまいかねない」というものだ。「私たちに求められているのは、これ（循環経済という言葉）が『持続可能性』という言葉にただ取って代わるだけにならないようにすること、そして実際にあまり意味のない言葉を生み出し続けないようにしていくことです」とソーベンは言う。「私たちが議論しているのは、ただシステムをいじくり回すのではなく、もっと全般的な変化を起こしていくことなのです」。

円卓会議で特に重要な点は、コカ・コーラ社が新しい包装の計画を発表したことだ。このソフトドリンク大手は、ゴミ問題

の一因となっている大企業の象徴となっている。グリーンピースがキャンペーンを行って、同社が年間1,000億本以上のペットボトルを生み出していると主張し、注目を集めたことがその一因となっている。コカ・コーラ社は、2020年までにペットボトルの再生材含有率を50%まで増やし、デポジット払い戻し制度（DRS）の影響を調査すると公約している。その制度では、消費者が缶やボトルに払い戻し可能なデポジットを支払うことが求められる。また同社は、リサイクルしてごみを散らかすのを止めるよう奨励するキャンペーンを立ち上げた。

食品ゴミ運動組織フィードバックのカリナ・ミルストン事務局長にとって、このような公約は持続可能な社会を生み出すために必要な変化の範囲を適切に捉えたものではなかった。実際、彼女の主張は、「資源を無駄にして環境を破壊するような消費ベースの世界的な大企業のビジネスモデルは、地球のニーズと根本的に相容れない」というものだ。代わりに耐久性のある商品を促進するような新しいビジネスモデルが求められている。そのような変革を起こすには、「経済の再地域化」を行い、例えば古い靴を修理するよりも新しいものを1足買う方が安く済んでしまうような低価格の世界的生産モデルから脱却する必要があると彼女は言う。「かつては靴の修理屋がいたところにありましたが、今はもうありません。地方経済を活性化することが私たちの資源と社会にとっての一連の難題を解決するカギを握っていると考えているのは、ミルストンだけではない。すでに英国には「修理カフェ」がたくさんある。そこでは自転車から陶器に至るまでどんなものでも修理したいと考える地元の人たちに道具や素材を提供し、アドバイスをしている。

しかしこのような地域的な変化で間に合うのだろうか？ 年間約900万トンのゴミ処理を行う英国スエズ社のデイビッド・バルマー・ジョーンズ最高経営責任者は、それには懐疑的だ。「規模を認識できていないのです」と彼は言う。「地方で率先して取り組んで、何ができるのか示していくのは素晴らしいことですが、大規模で迅速に変化を起こそうと思うのなら、政府の介入が必要になってきます」

エストニアで大成功を収めているDRSを運営するラウノ・ラールは、自国から有益な教訓が得られると主張している。2005年以来、エストニアの顧客はコーラを1本買うたびに、デポジットを支払ってきた。昨年は、75%の缶と87%のペットボトルが返却された。政府が行動を起こして初めてその計画が可能になったのだ。「ここ（英国）で議論されているものは、

12年前にエストニアで行われたものと全く同じです。みんなDRSに反対していました。政府は全ての製造業者と小売業者に議論を求め、『わかりました。皆さんはDRSを導入したくないのですね。それでは私たちの方で皆さんのために始めることにします』と明言したのです。しかし政府だけでなく、市民も鍵を握っているとラールは言う。消費のパターンを変えて資源を保護するには、個人の価値観が必要不可欠なのだ。

エクセター大学で循環経済を教えるアダム・ラスビー講師はそれに異論を唱えた。消費者と消費を対象にするのは誤りだと言う。「大規模なキャンペーンを行って人の行動を変える必要はありません。ただ物のデザインを変えるだけでいいのです。それは製品のデザインを改良していくという意味になるが、経済の構造を改善していくという意味にもなる。その第一歩は、労働に課税するのではなく、プラスチックを作るのに使う化石燃料のような再生不可能な資源に課税することになるだろう。「誰が何をするのかということをめぐる争うのではなく、健全なマクロ経済的英断を下すこともできるのです」とラスビーは語った。

■ 語句.....

- 第1段落 complain 「不平を言う」 startle 「～を驚かせる」
- 第2段落 rubbish 「ごみ」 throw out 「～を捨てる」
throwaway 「捨てること」 startlingly 「驚くほど」 tangle 「～を引っかける」
- 第3段落 address 「～に対処する」 fierce 「激しい」
dump 「ごみの山」 buzzword 「流行語」 sustainability 「持続可能性」 tinker with 「～をいじり回す」
- 第4段落 critical 「重要な」 contribution 「貢献、関与」
thanks in part to 「～のおかげによることもある」 litter 「(ごみ)を捨てる」
- 第5段落 pledge 「約束」 scope 「範囲」 fundamentally 「本質的に」 vibrant 「活気のある」
- 第6段落 initiative 「取り組み、主導」 intervention 「介入」
- 第7段落 scheme 「計画」 retailer 「小売業者」 vital 「極めて重要な」 consumption 「消費」
- 第8段落 implementation 「履行」

IV

解答時間の目安 5分

■ イントロダクション.....

正解の選択肢に難し目の語が出てきているが、意味を推測したり、消去法を使ったりすればどれも正解できる問題である。

■ 設問解説.....

空欄補充

(32) 正解 4 presumed 標準

- 1 committed 「関係する」
- 2 disguised 「隠される」
- 3 inspected 「検査される」
- 4 presumed 「推定される」

空欄の前には are という be 動詞、後ろには to be という to 不定詞が続いている。この形をとれるのは 4 である。be presumed to do で「～すると推定される(思われる)」という意味になる。1は be committed to doing という形をとり、「～することに専心する」という意味になる。

(33) 正解 4 subject 標準

- 1 influential 「影響力のある」
- 2 likely 「～しそうである」
- 3 qualified 「資格がある」
- 4 subject 「影響を受ける」

空欄の前には is という be 動詞、後ろには〈to + 名詞〉の形が来ている。この形をとれるのは be subject to 名詞「～の影響を受ける」の 4 である。2は be likely to do 「～する傾向がある、～しそうである」、3は be qualified for A で「Aの資格がある/適任である」、be qualified to do で「～する資格がある、～するのに適任である」という意味になる。

(34) 正解 4 scattered 標準

- 1 disproved 「反証された」
- 2 intruded 「侵入された」
- 3 refrained 「遠慮した」
- 4 scattered 「散在している」

空欄の前後を見ると hundreds of widely ... stations, ... bases, and ships 「何百もの広く～な拠点、基地、船」と複数形の名詞を修飾し、widely という副詞に修飾されているので、「散在している、散らばった」という意味の 4 が文法上意味上適切である。

(35) 正解 1 arbitrarily やや難

- 1 arbitrarily 「気ままに」
- 2 orderly 「整然と」
- 3 relatively 「相対的に」
- 4 thoroughly 「徹底的に」

空欄のある文の文意を取ると「当初は嵐は～に名付けられていたが、後にアルファベット順に名前を与えられた」とあるので、1が文意に合う。arbitrary は「恣意的な、独断的な」と訳されるが、「きちんとした理由やルールがないこと」を表す。慶應受験者であれば知っておきたい単語。

(36) 正解 1 arranged やや易

- 1 arranged 「並べられた」
- 2 compromised 「妥結された」
- 3 deleted 「削除された」
- 4 opposed 「反対の」

空欄の前には a list という名詞、後ろには alphabetically 「アルファベット順に」という副詞がある。よって、1を入れて、「アルファベット順に並べられたリスト」とすれば文法上意味上適切な形が出来上がる。

(37) 正解 2 alternated 標準

- 1 affirmed 「確認する」
- 2 alternated 「交互に起こる」
- 3 perceived 「知覚する」
- 4 pretended 「偽る」

空欄のある文の前の2文を読むと、「もともとハリケーンの名前は女性の名前だけだったが、男性の名前も加わった」とある。さらに次の文にはFor exampleを伴い、Ana (女性)、Bill (男性)、Claudette (女性)、Danny (男性)、Erika (女性)、Fred (男性)と男女の名前が交互に使われるようになったことが述べられている。よって、alternate with 「〜と交互に起こる」のalternatedを入れてthey (= men's names) have alternated with the women's names「男性の名前と女性の名前が交互に使用されている」とすれば文意に合う。

(38) 正解 3 rotation やや易

- 1 dispute 「議論」
- 2 position 「位置」
- 3 rotation 「交替」
- 4 trial 「試み」

文意を取ると「6つのリストが〜で使われているので2015年のリストが2021年にまた使われる」とある。よって3を入れてin rotation「ローテーションで、交替で」とすれば文意に合う。

■和訳

暴風雨(熱帯低気圧)に名前を付ける習慣は何年も前に始まったが、それは警告メッセージで暴風雨を迅速に識別しやすくするのが目的だった。名前の方が数字や専門用語よりもはるかに記憶しやすいと考えられているからだ。経験から、簡潔で特徴的な名前を使用することで、口頭でも文書でも、以前の識別方法よりも伝達が速まり、間違いが起りにくくなることがわかっている。このような利点が特に重要になるのは、広く何百箇所にも散在する拠点や海岸基地、航海中の船舶の間で、暴風雨の詳細な情報を交換する場合だ。当初は適当に名付けていた

のだが、体系的で効率的な呼称法を迫及した結果、のちに気象学者が決定したのは、アルファベット順に並べたリストから名付けることだった。例えば、アンのようにAで始まる名前を付けた暴風雨は、1年で最初に発生したものになる。1953年以来、大西洋の熱帯低気圧は、米国国立ハリケーンセンターがまとめたリストから名付けられている。最初はリストには女性の名前しか採用されなかったのだが、1979年に男性の名前も採り入れられた。それ以来男性の名前と女性の名前が交互に使用されている。例えば2015年の暴風雨には、アナ、ビル、クローテット、ダニー、エリカ、フレッドのような名前が付けられた。6つのリストを順番に使用するため、2015年のリストを再度使用するのは2021年になる。

- 語句.....
- practice 「慣習、習慣」 years ago 「何年も前に」
- presume 「〜と考える」 distinctive 「独特の」 be subject to 「〜を受ける」
- scatter 「散らばる」 arbitrarily 「任意で」 meteorologist 「気象学者」
- arrange 「並べる」 originate 「〜を作り出す」
- introduce 「〜を導入する」 alternate 「代える」 as follow 「以下のように」
- rotation 「順繰り」

V

解答時間の目安 5分

- イントロダクション.....
- 若干難問も入っているが標準レベルの問題が多い。素早くかつ確実に正解したい。

■ 設問解説..... 空欄補充

(39) 正解 2 never ... might やや易

It _____ occurred to me that he _____ miss the chance.

「彼がチャンスを逃したとは、私は思いもしなかった」

- 1 has ... never
- 2 never ... might
- 3 were ... would
- 4 will have ... does

最初の空欄の後ろには自動詞の occurredがあるの
で受け身になっている3は不可。また未来完了が出て
くる時制の印もないので4も不可。2つ目の空欄の動
詞は missで、neverをここに置くことはできないので
1も不可。neverを置くのであれば he never missesのよ
うに三人称単数の-sや he would never missのように
助動詞がつくはずである。よって2が正解。〈考え〉
occurs to 〈人〉「考えが人に浮かぶ」= 〈考え〉 strikes
〈人〉は入試頻出。今回の文では〈考え〉の部分に It
があり、後ろの that 節を指している。

(40) 正解 1 alleged やや難

The lawsuit _____ that the company was aware
of cancer risk associated with the dry chemical
powder but concealed that information from
the public.

「会社がドライケミカルパウダーがガン
のリスクがあることに気がつきながらその
情報を公にしなかった、と提訴した」

- 1 alleged 「主張した」 2 facilitated 「促進した」
3 filed 「告訴した」 4 sued 「告訴した」

空欄の後ろには that SV という that 節がある。選
択肢の中でこの形をとれるのは1の alleged だけである。
3は file a law suit 「告訴する」、4は sue 〈人〉「〈人〉を
訴える」という形で使う。

(41) 正解 4 up in the air 標準

A: "How many people will be coming to the
party?"

B: "I haven't heard back from everyone yet, so
it's still _____."

A 「パーティーには何人来るの？」

B 「全員から返事が来っていないから、まだわ
からないんだ」

- 1 no idea 「分からない」
2 on the way 「進行中で」
3 to notice 「注目すべき」
4 up in the air 「未決定で」

何人がパーティーに来るのか尋ねているの
に対して、全員からは回答を得ていないと述
べているので4が正解。1の no idea は人を主
語に取り、I have no idea 「わからない」と
いう形で使う。

(42) 正解 2 comes ... no one 易

When it _____ to tennis, _____ is more
enthusiastic than my sister.

「テニスのこととなると、私の姉が一番熱
狂的だ」

- 1 adds ... someone 2 comes ... no one
3 expects ... every one 4 tries ... anyone

最初の空欄の前には When it、後ろには to
tennis という形があるので、2の comes を入
れて when it comes to 「～のこととな
ると」という形を作れば「テニスのこと
になると」となり、文法上意味上適切な形
が出来上がる。後半部分の no one is more ...
than A 「Aよりも～な人はいない」→「Aが
一番～」という〈否定語+比較級〉の表現も
入試頻出の重要表現。

(43) 正解 1 Contrary to やや易

_____ what we often hear, there were
people who thought the Earth wasn't flat
even before Columbus sailed to the
Americas. In ancient Greece, the
philosophers had already recognized that
the earth was spherical.

「私たちがよく聞くことと違って、コロン
ブスがアメリカへ出港する前から地球が平
面ではないと思っていた人々がいた。古代
ギリシャでは、哲学者たちがすでに地球
は球体と考えていた」

- 1 **Contrary to** 「～に反して」
- 2 **Due to** 「～が原因で」
- 3 **For the sake of** 「～の利益のために」
- 4 **On account of** 「～が原因で」

空欄の後ろには what we often hear 「私たちがよく聞くこと」という名詞節がある。その後ろには「地球が平面ではないと思っていた人々がいる」とある。よって、1の **contrary to** 「～に反して」を入れれば、「私たちがよく聞くことと違って」となり文意に合う。

(44) 正解 2 for free 標準

Eventually the computer company had to charge customers for what it had been giving away _____ when it had to separate its hardware and software.

「ハードウェアとソフトウェアの乖離を余儀なくされた結果として、コンピューターの製造者は元来無償で提供していた物を有償で販売することとなった。」

- 1 **at a price** 「かなりの高値で」
- 2 **for free** 「無料で」
- 3 **not at all** 「全く～ない」
- 4 **with nothing** 「何もなしに」

空欄の前には giving away がある。このフレーズと相性がいいのは2の **for free** 「無料で」ある。give away (for free) で「～を無料で与える」という意味。

(45) 正解 3 removed やや難

Today the concept of selling an entertainment experience is becoming common in business far _____ from theaters and amusement parks.

「今日、楽しい経験を売ることは、映画館や遊園地とはまったく異なるビジネスになっている」

- 1 **moved** 2 **moving**
- 3 **removed** 4 **removing**

空欄の前には far, 後ろには from という前置詞がある。よって、ここに3の removed 「離れて」という形容詞を入れれば **far removed from** 「～とはかけ離れている」という形が出来上がる。ここでは「映画館や遊園地とはほど遠い(全く違う)ビジネス」という意味で使われている。

(46) 正解 3 worth 標準

As I approach the end of the third year of my undergraduate studies, I've been looking back on my education. Has my university experience been _____ it?

「大学3年の終わりが近づき、私はこれまでの勉強の成果を振り返った。大学での経験は価値あるものだったのだろうか？」

- 1 **deserved** 2 **deserving**
- 3 **worth** 4 **worthwhile**

空欄の前には been という be 動詞、後ろには it という名詞があるので、**be worth** 「～の価値がある」という形をとれる3の worth が正解。worthwhile は **it is worthwhile to do/doing** 「～する価値がある」の形をとる。deserve は「～の価値がある」という形をとるが進行形にすることはできない。この語の言い換えに merit もあることを覚えておこう。

(47) 正解 1 it in mind 標準

I had _____ to change certain explanatory notes in the new edition of my book, but I didn't have time to complete them last year.

「私は自分の本の新版で正しい注釈に変更するつもりだったが、昨年、それを完成する時間がなかった」

- 1 **it in mind** 「～を考慮する」
- 2 **mind** 「精神」
- 3 **mindful** 「気をつけて」
- 4 **on my mind** 「気にかかって」

空欄の前にはhad, 後ろにはto changeという不定詞のかたまりがあるので, 1のit in mindを入れて, **have it in mind to do** 「～することを考慮する, ～するつもりだ」という形が出来上がる。このitは後ろのto不定詞を指している。have O in mind 「Oを考慮する」のOの部分が入るより長い場合はhave it in mind Oの語順で用いられることが多い。have in mind that SV 「SがVするのを考慮する」という形もよく出てくる。haveの代わりにbearも使えることを覚えておこう。

(48) 正解 3 go through 標準

Writing that report was an awful experience. I don't want to _____ that experience again!

「レポートを書くのは大変だった。二度とあんな経験はしたくない!」

- 1 **go on** 「続ける」
- 2 **go round** 「回る」
- 3 **go through** 「経験する」
- 4 **go to** 「～へ行く」

空欄の後ろにはthat experience 「あの経験」がある。experienceと相性がいいのは3の**go through** 「(苦しみなど)を経験する」である。

VI

解答時間の目安 5分

- イントロダクション.....
(a)はレベルが高いがその他の問題はたやすく正解できるので, 全問正解を狙える。
- 設問解説.....
空欄補充(記述)

- dispose** 「処置する」
- explode** 「爆発する」
- refer** 「言及する」
- request** 「要求する」
- survive** 「生き残る」

(a) 正解 reference やや難

空欄の前にはhistoricalという形容詞がある。この文以降, LondonにあるPindarという場所の歴史について述べられているため, referの名詞形referenceを入れてhistorical reference 「歴史上の記述」とすれば文意に合う。ただしこの表現を知っている受験生は少なく5つの問題の中で最も難しいので, 他の問題をすべて解いてから最後に残ったreferの名詞形をここに入れるのが得策。

(b) 正解 request 標準

空欄のある文の構造をとるとthe fact that they (= the pictures) were taken ... was confirmed by the Ministry of Defence in its response to a (b) under the ... Act 「法律の元～に対応して確認された」とある。よって, response toと相性のいいrequest 「要求」を入れれば, 「要求に対応して」という文法上意味上ふさわしい形が出来上がる。Actに「法律, 条例」の意味があることは覚えておきたい。

(c) 正解 survival 標準

空所のある文のダッシュの後方にensure authority can prevail even during and after extreme catastrophes 「大惨事が起こっている間やその後でさえも, 確実に権威が行き届くようにしていく」とあるため, surviveの名詞形survival 「生き残り」を入れれば「政府の生き残りを可能にする」となり文意に合う。なお, この文はSVOCのO [the survival of the government]の部分C [possible]よりも長いので, 順序が逆になっている。

(d) 正解 disposal 標準

空欄の前にはat ourという、前置詞のatと所有格の代名詞がある。よって、disposeの名詞形disposalを入れてat one's disposal「～が自由に使える」を入れれば、「私たちが自由に使えるシェルターがない」となり文法上意味上適切な形が出来上がる。このイディオムは慶應受験者であれば覚えておきたい。

(e) **正解** explosion **標準**

空欄の前にはnuclear「核の」という形容詞がある。この語と相性がいいのはexplodeの名詞形explosion「爆発」である。a ... nuclear explosionで「核爆発」という意味。

■和訳.....

核戦争が起こった場合、英国政府には、少なくとも1つ、ロンドンのまさに心臓部に隠されたシェルターがある。ピンダー(ピンダロスの英語名)と呼ばれるものだ。古代ギリシャの詩人と同じ名前になっているが、その歴史上の記述は恐ろしいものだ。アレクサンダー大王がテーベという都市を滅ぼし、残したのはピンダロスの家だけだったのだが、それはギリシャの王の祖先を称える(彼の)詩に感謝していたためだったと言われている。それで勿論、ロンドンが核攻撃で壊滅的なダメージを受けたとしても、ピンダーは無傷のままということになるようだ。その建造物が核攻撃に備えて特別に設計されたのかどうかはわかっていない。その複合施設の写真で公開されているものは、ごく一握りにすぎない。そのような写真が実際にピンダー内で撮影されたものだとすることを防衛省が確認したのだが、これは情報公開法に基づいた要求に応えたものだった。ピンダーによって、超安全な軍司令部が得られるだけでなく、政府の存続が可能になる。大惨事が起こっている間やその後でさえも、確実に権威が行き届くようにしていくための国家計画の一部になっている。しかし軍や政治の指導が惨事に耐える能力だけでは足りない。そのような指導者が代表として守るべき一般大衆はどうだろうか？ 準備ができていだろうか？ 自由に使えるシェルターがある人はほとんどいない。核戦争や小規模の核爆発が起こる可能性は低いが、それでも万が一に備えて準備を整えておくのは、価値あることなのだ。

■語句.....

reference「参照(されるもの)」 demolish「～を破壊する」 grateful「感謝した」 implication「示唆」 intact「完全なままの」 headquarter「司令部、本部、本社」 ensure「～を保証する」 prevail「行き渡る」 catastrophe「破滅、大惨事」 withstand「～を持ちこたえる」 represent「～を代表する」 at one's disposal「～が自由にできる」 in case「万一に備えて」

VII

解答時間の目安 3~5分

■イントロダクション.....

語の選択も、語形を選ぶのも簡単なので、素早く全問正解したい。

■設問解説.....

空欄補充(記述)

- | | |
|--------------|----------------|
| bring「持ってくる」 | grow「育つ」 |
| hand「手渡す」 | identify「認識する」 |
| limit「制限する」 | regard「見なす」 |

(a) **正解** brings **標準**

空欄の後ろにto mind artifacts, ... monuments and buildingsとあるが、mindとartifactsという名詞が連続していることに不自然さを感じられたかがポイント。bring A to mind「Aを思い起こさせる」のAの部分にto mindよりも長いため後ろに置かれているとわかったかどうか正解のカギとなる。主語はheritageで三人称単数形なので-sをつけたbringsが正解。英語は長いものを後ろに置くという性質を覚えておこう。

Cultural heritage...brings <to mind>
 [artifacts, historical monuments and buildings, as well as archaeological sites]

(b) 正解 grown やや易

空欄の後ろには to include という to 不定詞がある。よって、**grow to do 「(成長して) ~するようになる」** の grow が入るとわかる。空欄の前には現在完了形の助動詞 has があるので過去分詞の grown が正解。

(c) 正解 regarded やや易

空欄の前には are という be 動詞があり、後ろには前置詞の as がある。よって、**regard A as B 「A を B と見なす」** の受動態になる過去分詞 regarded が正解。identify も identify A as B 「A を B と見なす」の用法があるが、他の問題の正答として使わなければならないので、ここでは正解になれない。

(d) 正解 identify 標準

空欄の後ろには themselves with ... landscape という oneself with A の形がある。この形をとれるのは identify である。**identify oneself with A で「自分を A に重ね合わせる」** という意味。identify A with B 「A を B と同一視する」は覚えておきたい表現。

(e) 正解 limited 易

空欄の前には is という be 動詞、後ろには前置詞の to と名詞がある。よって、**limit A to B 「A を B に制限する」** の受動態の limited を入れればよいとわかる。

(f) 正解 handed 標準

空欄の後ろには down from ... to という形がある。**hand A down from B to C 「A を B から C へと伝える」** の過去分詞の handed を入れれば、「世代から世代へと伝えられる芸術、社会慣習、知識とスキル」となり文法上意味上適切な形が出来上がる。

■ 和訳.....

文化的遺産と聞くと、普通、考古学的な遺跡同様、人工遺物や史跡、歴史的建造物が思い浮かんでくる。しかし文化的遺産という概念は、それよりもさらに広範に及ぶものだ。それは徐々に拡大し、写真や書類、書籍、原稿、機械など、人間の創造性や表現力の証拠を全て含むようになっている。現在では、都市や水中遺跡、自然環境も文化遺産の一部と見なされるようになっている。地域社会が自らを自然景観と重ね合わせているためだ。さらに文化遺産というのは、見て触れることのできる有形物に限定されるものではない。その構成要素には非物質的なものも含まれている。伝統や口述歴史、舞台芸術、社会的慣習、知識、技術のように、地域社会で世代から世代へと伝えられるものだ。

■ 語句.....

artifact 「人工物」 archaeological 「地質学的な」 manuscript 「原稿」 regard O as 「O を ~ と見なす」 consist of 「~ を含む」 oral 「口頭の」 hand down 「伝える」